

山岡光広・西山実・岡田重美議員が一般質問

発言順

山岡光広議員



◆自治振興会と区及び自治会のあり方(第二弾)、◆生活保護のしおりと扶養照会、◆原発避難マッチング公表について、◆新名神甲南インター周辺の工業団地造成計画について

山岡 自治振興会と区及び自治会の今後のあり方については、地域によって温度差がある。強引に進めるのではなく、地域づくりは、納得と合意を前提に進めるべき(3月議会に続き10項目にわたって質問)。

総合政策部長 地域で議論を深めていただくことが重要。熟度についても十分でない地域もある。よって地域の現状を詳細に把握し、区・自治会の一体化した自治振興会運営等、また会計処理や監査方法を徹底する方策についても再検討する。区及び自治会の要望は、切実な思いが込められているものであり、速やかに対応できる仕組みづくりを検討する。

山岡 生活保護申請における扶養照会の取扱いについて厚労省から昨年の2月・3月と相次いで改善通知が出されているのに、甲賀市の「生活保護のしおり」は、改定されていない。早期に見直すべき。

健康福祉部長 議員指摘の通り更新ができていなかったもので、改訂した。これまでに以上寄り添った支援に努める。

山岡 原発災害の場合、長浜市民が甲賀市に避難することになっているが、マッチングはいつ公表するのか。

危機安全管理統括監 事務的な調整はほぼできている。両市のタイミングあわせて公開したい。

西山実議員



◆都市計画道路の見直し(特に高塚林口線)について、◆大型車両の通行による住宅地の騒音と振動(水口町名坂周辺)について、◆地域別ランドデザインについて

西山 水口中央公民館の建替えは、旧体育館に設定されている都市計画道路を避ける形で設計が計画されている。計画決定から60年間ほとんど進んでいない都市計画道路は見直すべき。

建設部長 地域別ランドデザインに取り組み中で、都市計画道路の整備や廃止についても検討を進めていくことが必要。

西山 「深夜・早朝に住宅地横の県道・市道を大型車両が通行し、騒音と振動で困っている」と名坂・松尾台地域の住民から深刻な訴えが届いている。大型車両の通行規制や道路の凹凸の改善を求める。

建設部長 通行規制は難しいが、近隣の工業団地の企業に対し、住宅地道路を迂回するよう要請している。市道の凹凸はすぐに修繕する、県道の修繕は県に要請する。

西山 地域別ランドデザインの推進方針について、必要性と地域づくり計画との違い、市の関わり方、検討委員会の設置状況と委員構成の特徴は。

総合政策部長 グランドデザインは、地域ごとの「将来の姿」と「その姿を実現するための方法」をまとめるもの。行政の役割などを含めて再構築する。23地域の中で検討委員会の設置は7地域、多様な参加を求めているが、若者の参加が難しい。地域の実情に応じて検討を急がない。

岡田重美議員



◆公立保育園の使用済み紙オムツ持ち帰り廃止について、◆不慮の災害による税・保険料の減免について、◆コロナ対策、特に自宅療養・濃厚接触者への対応、◆投票所等の見直しについて

岡田 不慮の災害時の税・保険料の減免期間については年度内とされているが、1月以降の災害は翌年度も対象とする、または災害から1年以内とするなど、柔軟な対応で市民の生活を支えることを求める。

市長 減免は当該年度に限る。次年度も著しく納付が困難な場合は、改めて申請いただいたうえで判断させていただきます。

岡田 コロナ感染者のうち98%が自宅療養者。保健所との情報共有を強化し、市民のいのちを守る施策を講じるべき。

健康福祉部長 保健所との連携強化を図りながら、市民の療養生活を支援できるように検討していく。

岡田 自営業者が感染した場合の傷病見舞金は市独自の施策。有効に活用できるように、保健所と連携し周知徹底を。

市民環境部長 7月の保険証送付時に本制度についての案内を記載し送付する。

岡田 選挙管理委員会より、現在97ある投票所を37に減らす案が示されたが、投票所の削減は投票率の低下を招くもの、市民の投票権を奪うものであり、削減は止めるべき。

選挙管理委員会事務局長 たたき台として示したものを。選挙事務の効率化と合理化及び投票環境の向上を図るよう、投票区域編成審議会において検討を進める。

山岡 6月定例議会は、参院選・知事選と重なって大変忙しかった。お疲れさまでした。

西山 私にとっては、3回目的一般質問。地域の要求で懸案になっている都市計画道路、切実な改善の声が寄せられている大型車両通行に伴う騒音・振動問題を取り上げ、一定の前進を切り開くことができました。

岡田 保育園での紙オムツ持ち帰りをやめて公立園で処分することについては、「早期に実施すると約束していた」だいたことは大きかった。火災の被害にあった場合、税などの減免が「年度」に区切られている問題点について、指摘しましたが、根本的な改善を求めることができずじまいでした。国の法律の矛盾でもあるので、政府にも要求をぶつけていきたい。

山岡 自治振興会と区及び自治会の今後のあり方については、3月議会に続いて10項目質問。全体として見直しせざるを得なくなりました。その点で長野県松本市の地域づくりを教訓に、と提案しました。今度自治研の研修でも現地に行くので、それをもとにまた質問に生かしたいと思っています。

岡田 一般質問でこの問題について発言したのは、自治振興会で山岡議員、ランドデザインで西山議員だけだったのは意外でした。もっと議会としても議論を深めたい。

山岡 そうですね。もう8月30日から9月議会が始まるので、引き続き、市民のみなさんの声を聞き、寄り添う姿勢で臨みたいと思います。